

デジタル放送技術セミナー2012

～地上デジタル放送への移行1年後の現状と新たな取り組み～

■主催：一般社団法人 電子情報技術産業協会
社会システム事業委員会
放送システム専門委員会

■担当部署：インダストリ・システム部

■参加者数：約60名

概要

当協会「放送システム専門委員会」（委員長：小堀理/株東芝）では、新たな「コンテンツ権利保護専用方式」「ハイブリッドBox」及び「放送通信連携システム」といったホットな技術に関して、その仕組みや機能、最新の動向等について、それぞれのテーマとして取り上げ、当該分野の第一人者の方々を講師としてお招きし、「地上デジタル放送への移行1年後の現状と新たな取り組み」と題して、下記のとおり「デジタル放送技術セミナー」

を開催致しました。放送事業者の方々をはじめ、企業・団体等、多方面から約60名もの数多くのご参加を頂き、成功裡に終ることができましたこと、誠に有難く、厚く御礼を申し上げます。また、ご多忙のなか、快くお引き受け頂きました講師の方々を始め、ご支援・ご協力を頂きましたご関係各位に、改めまして厚く御礼を申し上げます。



開会挨拶・小堀委員長



講師：吉本様



講師：徳竹様



会場全景



講師：真島様



閉会挨拶・渡辺副委員長

プログラム

○「地上デジタル放送における“コンテンツ保護専用方式”の導入に向けて」

一般社団法人 地上放送RMP管理センター 事務局長 吉本秀明 氏

○「次世代STB「ハイブリッドBox」とアプリケーション検証について」

一般社団法人 日本ケーブルラボ 実用化開発グループ長 徳竹政幸 氏

○「放送通信連携システムHybridcast の概要と技術について」

NHK放送技術研究所 次世代プラットフォーム研究部 主任研究員 真島恵吾 氏
